

ナラブライ炭鉱プロジェクトの概要

位置	豪州ニューサウスウェールズ州ガネダ炭田の北西部	
石炭資源	石炭賦存状況	南北 17km、 東西 7km、 深さ：160～350m
	炭層構造	主要炭層は Hoskisson (ホスキソン) 層で、層厚 8～11m
	石炭資源量	北部 230 百万トン、南部 209 百万トン、計 439 百万トン (確定資源量、推定資源量、予想資源量の合計)
採掘	採掘方式	坑内掘
	計画生産量	第 1 ステージ (コンティニューアスマイナー)：1 百万トン/年、 第 2 ステージ (ロングウォール)：6～7 百万トン/年
	計画生産年数	24 年
輸送方法	鉄道 (積出港のニューキャッスル港まで約 380km)	
開発工程	2008 年 1 月 地表工事着手 2009 年 出炭開始 (第 1 ステージ) 2010 年 第 2 ステージ出炭開始	
プロジェクト参画者	J-POWER グループ (J-POWER オーストラリア社) : 7.5% ホワイトヘブン・グループ (ナラブライ・コール社) : 85.0% 広東省粵電集团有限公司グループ (アッパー・ホーン社) : 7.5%	

(表の数字は現時点での見込みを含む)

注) ホワイトヘブン社

豪州ニューサウスウェールズ州ガネダ地区で稼働中 3 炭鉱 (キャニオン炭鉱、ウェリスクリーク炭鉱、タラウォンガ炭鉱) を保有する炭鉱会社である。2007 年の生産量は合計約 250 万トン。

会社沿革は以下のとおり。

1999 年：設立

2007 年 6 月：シドニー証券取引所上場